

6月の花といえば、やはり紫陽花が真っ先に思い浮かびます。紫陽花の語源は「あづさい」が変化したものだと言われています。「あづ」は「あつ」（集）、「さい」は「さいい」（真藍）青い花が集まって咲く様子を表しています。雨で傷んでしまう花が多い中、紫陽花は雨に負けず、ますます美しい色合いになることから、苦難に負けず平和が続くようにと万葉の昔から歌にも詠まれてきました。

あぢさゐの 八重咲くごとく 八つ代にも  
いませ我が背子 みつつ偲はむ  
万葉集・巻二十 橘諸兄（たちばなのもろえ）

紫陽花の花が八重に咲くように、あなたも末永くお元気でありますようにと、この花を見ながら祈っています。（現代語訳）



## 読書感想文を書いてみよう



読書感想文は、本を読んで自分の思いや心の動きを書くものです。書くことによって考えを深め、著者が言いたかったことに思いをめぐらせたり、わからなかったことを解決したりすることができます。読書感想文は「考える読書」ともいわれているのです。

また、読書感想文は自分自身の記録となり、読み返すことによって、いつでも「感動した自分」に出会うことができます。



裏面に「青少年読書感想文コンクール」の課題図書を紹介しています。読んで、感想を書いてみましょう。



## どう書けばいいの？



まず、思い切り楽しめたり、自分を見つめなおしたり、新しいことを教えられたり、自分の心を突き動かしたりするような本を見つけましょう。

題名は自分が一番感動したことや、最も伝えたいことの中核となる言葉を考えてつけるといいでしょう。魅力的な題名は人を引きつける力があります。

本を読んで自分がどこに感動したのか、なぜ感動したのか考え、もう一度本を読んでみます。2回目は、自分の生き方や経験を本の世界と照らし合わせながら読むと、いろいろなことが見えてきます。本を読んだら、感じたこと、思ったこと、連想したことをすべてメモしておきましょう。そしてその順番を入れ替えたり、内容を補ったりしながら自分の心の動きに合わせていきます。また、それがうまく人に伝わるかを考えましょう。一度、自分以外の人に読んでもらうことも、おすすめします。これを繰り返すうちに、何をどう書けばいいのかが、自分が一番伝えたいことは何なのか、はっきりしていきます。



# 第71回 青少年読書感想文コンクール



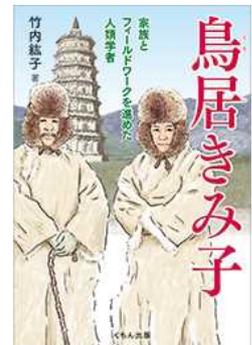
## 中学校の部

「わたしは食べるのが下手」 天川栄人 / 作 小峰書店  
会食恐怖症と摂食障害。ふたりの少女がたどり着いた正しい“食”との向き合い方とは。わたしたちが望む給食って、どんなだろう？



「スラムに水は流れない」  
ヴァルシャ・バジャージ / 著 村上利佳訳 / 訳 あすなろ書房  
インドのスラムは水の供給が極端に悪かった。少女ミニは水関連の事件や母が倒れるなどの試練の中、健気に生きぬいていく。

「鳥居きみ子：家族とフィールドワークを進めた人類学者」  
竹内紘子 / 著 くもん出版  
「知の巨人」ともいわれた夫の鳥居龍蔵や家族とともに、人類学の研究に取り組み、調査を進めた鳥居きみ子の生き様を描きます。



## 高等学校の部

中学生の課題図書ではありませんが、ぜひ、読んでみましょう。

「銀河の図書室」 名取佐和子 / 著 実業之日本社  
宮沢賢治の言葉を残して、突然学校から消えてしまった先輩。その謎を追う高校生たちの今を瑞々しく描く、傑作青春小説。



「夜の日記」 ヴィーラ・ヒラナンダニ / 著 山田文 / 訳 金原瑞人 / 選 作品社  
イギリスからの独立とともに、分かれてしまった祖国。少女と家族は安全を求めて、長い旅に出た。ニューベリー賞オナー賞受賞作！

「「コーダ」のぼくが見る世界：聴こえない親のもとに生まれて」  
五十嵐 大 / 著 紀伊國屋書店  
もし、親の耳が聴こえたら——なんて、想像もつかなかった。言葉やコミュニケーションの本質、「善意による差別」って何だろう？



本はすべて、図書室にあります！